



すぎもり けんじ 杉森 賢二 議員



認定こども園化された北こども園

**Q** 県と連携した医療城下町の取り組みを

**A** 町内中小企業へ支援し事業を促進したい

**ファルマバレープロジェクトのさらなる発展を**

**問** ファルマバレープロジェクトとの関わりを前提に、中小企業の強みを生かせる事業の促進に対する町内企業への支援を。  
**産業振興課長** 町では中小企業による産業財産権の取得や産学共同研究の

支援、新製品や新技術などの開発、販路拡大事業などの補助事業を設けている。今後もこれらを活用し、ファルマバレープロジェクト関連町内中小企業への支援を行い事業を促進させていきたい。

**問** 町外から静岡県医療健康産業研究センターに入所する事業者に対し、今後の投資的支援など町の計画は。

**課長** 同施設を運営する一般社団法人ふじのくに医療城下町推進機構との協議の中では、入所企業が求めているのは財政的な支援よりも、地域産業

との連携や事業拡大に対する支援である。今後、機構との連携を密に、支援の仕組みを構築したい。

**Q** 既存町立幼稚園の早期認定こども園化推進を

**A** 町立幼稚園の認定こども園移行調査を進める

**潜在的待機園児ゼロ**

**問** やむを得ず認可外に通っている件数と補助額は以前と比較してどうか。  
**こども未来課長** 28年度月極め保育事業利用者は、延べ450人、助成額1千303万8100円、29年度利用者は、延べ3

60人、助成額1千101万3千円で、利用者は減少している。これは町内に民間保育所が開園したこと、町立北幼稚園を認定こども園に移行したことで受け入れ人数が拡大されたためと考えている。

**問** 早期のこども園化促進計画の考えは。

**町長** 待機児童解消は喫緊の課題となっており、保育量を確保するため、認定こども園への移行は必須な課題と考える。来年度には一部の民間保育所が認定こども園への移行を進めており、町立幼稚園においても認定こども園移行に向けて利用状況や施設整備、園区における3歳未満児の推移などを調査し、どの幼稚園が適しているのかを研究していく。

